

vol.

Governor's

Monthly Communication

2026.02.01

Rotary International District 2690

2025-26

2025-26年度

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)

2025-26年度地区ガバナー 坂口 元昭



平和構築と紛争予防月間に寄せて ……02
金谷晋爾地区ガバナーエレクトご夫妻 国際協議会ご出席壮行会 ……03
2025-26年度ロータリー財団 グローバル補助金奨学生報告 ……04
地区補助金事業 「バリアブレイクプロジェクト!! ～岡山ウィンディアとともに～」 車いすバスケットボール体験会の実施 ……………05
地区だより ……06
出席報告 ……08

橋本興家「冬の海 砂丘連作の内」

Rotary
District 2690



よいことの
ために
手を取りあおう

平和構築と紛争予防月間に寄せて

地区ガバナー

坂口 元昭



日頃より各クラブの皆さまには、地区活動へのご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆さまの奉仕の積み重ねが、地域の信頼と希望を支えていることを、改めて強く感じております。

さて、2月は「平和構築と紛争予防月間」です。平和という言葉は、戦争や武力衝突のない状態として語られがちですが、ロータリーが目指す平和は、それだけにとどまりません。互いの違いを尊重し合い、誰もが安心して暮らし、学び、働き、未来に希望を持てる社会をつくること——その土台を整えていくことこそが、私たちの考える平和構築です。

世界では今も、国家間の対立や地域紛争、社会的な分断が続いています。しかし、私たちが向き合うべき課題は、遠い国だけのものではありません。身近な地域にも、孤立や貧困、差別や偏見、世代間の断絶など、平和を揺るがす要因が存在します。だからこそ、ロータリーが地域社会の中で果たす役割は大きく、紛争の芽を未然に摘み、対話と理解を育てることが求められています。

ロータリーは創立以来、「奉仕」と「親睦」を通じて、社会の安定と信頼を築いてきました。異なる職業や立場の人々が出会い、語り合い、協力し合う場は、まさに平和を育む小さな共同体です。対立の背景には、多くの場合、相互理解の不足があります。相手を否定するのではなく、まず耳を傾けること。違いを脅威ではなく価値として受け止めること。こうした姿勢の積み重ねが、紛争予防の第一歩となります。

今年度、皆さまにお伝えしているメッセージ、「よいことのために手を取り合おう」は、この平和構築

の精神と深く結びついています。分断が生まれやすい時代だからこそ、互いを理解し、助け合い、よりよい未来に向けて歩む力が必要です。ロータリーの活動は、まさにその力を地域に根付かせる営みではないでしょうか。

クラブに目を向ければ、奉仕の現場にはすでに平和への実践が数多くあります。学びの機会を守る教育支援、困難を抱える家庭や子どもへの支援、災害からの復興支援、地域で孤立する方への見守り活動。こうした一つひとつが、社会の不安を和らげ、人々の尊厳を守り、争いが起こりにくい土壌をつくっています。活動を通じて生まれる信頼の輪は、地域の平和そのものです。

また、ロータリー財団の平和フェロウシップや米山記念奨学会など、人材育成を通じて平和に貢献する制度も、ロータリーの大きな強みです。私たちの支援が、世界のどこかで平和の担い手を育て、対立を対話に変える力となっていることを忘れてはなりません。

私自身、クラブを訪問する中で、多くのロータリアンが互いを尊重し、温かい関係を築きながら奉仕に取り組まれている姿に触れてきました。その雰囲気こそが、ロータリーの誇りであり、平和を生む源です。

平和構築と紛争予防月間が、皆さまのクラブに「平和とは何か」を改めて考える機会と、新たな奉仕への気づき、そして前向きな議論をもたらすことを深く願っています。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

金谷晋爾地区ガバナーエレクト 国際協議会ご出席壮行会

次期地区代表幹事

平井 始 (玉島RC)

金谷晋爾地区ガバナーエレクトが国際協議会に出席されるにあたり、壮行会が坂口元昭地区ガバナー、玉島ロータリークラブ片山洋太郎会長の主催により、2025年12月20日(土)倉敷アイビースクエアにて挙行されました。

元国際ロータリー理事佐藤芳郎様ご夫妻、鳥居滋パストガバナーご夫妻、伊藤文利様、森本信一様ご夫妻、松本祐二様、庄司尚史様ご夫妻、古瀬俱之様、菊池捷男様ご夫妻、岩崎陽一様ご夫妻、石倉貞昭様、地区ガバナー坂口元昭様ご夫妻、地区ガバナーノミニー高山眞司様ご夫妻、地区代表幹事坂本高司様、次々期地区代表幹事大西直規様のご臨席を賜り、またガバナー補佐、次期ガバナー補佐、第6グループ元ガバナー補佐、倉敷ロータリークラブと第6ロータリークラブの会長・会長エレクト・幹事・次期幹事、米子南ロータリークラブ会長・会長エレクト・幹事・次期幹事、ホストクラブの玉島ロータリークラブの片山会長以下大勢の会員の皆様にご出席いただき、盛大に開催されました。

壮行会では、坂口地区ガバナーより、元気に帰ってきてほしいと壮行のお言葉をいただき、佐藤元国際ロータリー理事よりのどあめとノートのプレゼントがあり、ご祝辞がございました。

ホストクラブ会長として玉島ロータリークラブ片山洋太郎会長より、金谷ガバナーエレクトは、奉仕の場では常に冷静沈着、そして時に熱く語り、時にユーモアを交えて周囲を和ませてくれる、国際協議

会では、どんな言葉の壁もロータリーの「心と心のつながり」が乗り越えてくれるはずと激励の挨拶の後、坂口ガバナー令夫人より、金谷ガバナーエレクトご夫妻に花束の贈呈があり、金谷ガバナーエレクトより決意とお礼の挨拶がありました。

鳥居滋パストガバナーから体気を付けて同期との絆を深めてほしいとのご挨拶の後、乾杯のご発声があり、祝宴が始まりました。

和やかな雰囲気の中、懇親を深め、玉島ロータリークラブ中田龍伍会長エレクトより閉宴の言葉と「手に手つないで」を全員で合唱し、無事閉宴となりました。

金谷ガバナーエレクトが、国際協議会で有意義な研修をされて帰国されますことを、祈念いたします。



2025-26年度ロータリー財団 グローバル補助金奨学生報告

グローバル補助金奨学生
猪原 彩美



1. 学業面での成果

2025年9月22日からのWelcome Weekを経て、29日以降本格的に授業が開始しました。9月から12月までの秋学期では、「Neoliberalism and the Global Economy in an Age of Crises (危機の時代における新自由主義とグローバル経済)」と「Theorising Global Political Economy (グローバル政治経済の理論化)」の二科目を履修しました。両科目はレクチャー(1時間)とセミナー(2時間)で構成されており、セミナーでは事前に指定された3〜5本の文献をもとに議論を行います。各授業で、1回ずつプレゼンテーションの機会もあり、自分の理解や考えを他の学生や教授と共有することで、学びを深めることができました。

「Neoliberalism and the Global Economy in an Age of Crises」では、主に1970年代以降の新自由主義的な政策が世界経済の構造をどのように再編してきたかを学びました。特に、自由市場の理念がいかに政治・社会・文化・歴史的な文脈と複雑に結びついており、貿易・金融・労働市場などの構造にどのような影響を及ぼしてきたのかに注目しました。こうした学びを通じて、新自由主義を単なる経済理論ではなく、権力関係や不平等などを再構築する複雑な力学として理解する重要性を認識しました。

「Theorising Global Political Economy」では、国際政治経済を分析する多様な理論的枠組みを学びました。在籍するコースの名称は「International Political Economy」ですが、この授業では「Global Political Economy」という言葉を用いており、「International」といった国家間の関係や国際制度に限定せず、個人の行動や社会の力学を含むミクロ・メソ・マクロの複数のレベルから分析する視点を重視しました。これを踏まえ、各理論がその時代の課題にどのような視座を提供してきたか、どのような限界を抱えているのかを批判的に検討しました。

前者の授業では、資本主義の変化を具体的な事例や政策を通じて理解し、後者では、それらを分析するための理論的枠組みを批判的に検討しました。こうした二つの相互補完的な授業を通じて、資本主義の本質そのものを問い直すのではなく、その動態に関わる多様なアクターと関係性に焦点を当てる重要性を実感しました。資本主義の変化という文脈の中で、学部時代に学んだ国際政治学や開発経済学の知識が繋がる感覚を楽しみながら勉学に励んでいます。授業の予復習などで、忙しい日々もありましたが、無事に秋学期を終え、現在は各授業の最終課題に取り組んでいます。



Theorising Global Political Economy 最終日 左から3番目の方が、この授業の教授です。最終課題に向けて、親身に相談ののってくださっています。

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、 カウンセラーとの交流

9月19日の夜に到着し、翌日にはカウンセラーの方とお会いすることができました。今後の予定や重要なイベントについて説明いただいた後、生活に必要な買い出しにも同行していただきました。到着直後で土地勘がなく、交通機関の利用方法もわからなかったため、大変助かりました。

参加したイベントは以下の通りです。

・10月4日(土): 地区大会

テーマは「Going Green, Going Global」でした。地区ガバナーをはじめとする多くの方々のプレゼンテーションや報告を通じて、ロータリー財団への理解を深める貴重な機会となりました。午後の部では、他の6名のグローバル奨学生とともに、環境問題に関するQ&Aセッションを行い、各地域での取り組みや、政策に対する見解を共有しました。



10月4日の地区大会にて 左から順に、GG奨学生(日本)、GG奨学生(米国)、猪原、地区ガバナー Olatunji様、担当カウンセラー Annita様、GG奨学生(韓国)

・10月6日(月): グローバル奨学生の集い(ロンドン)

ロンドン市内の奨学生とSussex大学の奨学生が集まり、1時間ほどの交流の後、奨学生向けオリエンテーションが実施されました。奨学生としての心得や、グローバル補助金奨学生の先輩方のプレゼンテーションを通じて、今後の活動への理解を深めることができました。この場で知り合った奨学生とは現在も連絡を取り合っています。

・10月31日(金): ハロウィンイベント

このイベントでは、ロータリーと地域の方々とのつながりを実感するとともに、募金活動の仕組みを直接見ることができました。カウンセラーの方によると、会場で販売されている商品の収益はすべて寄付されることでした。子どもたちが友達を作ろうと照れながら声をかけ合う姿や、ご家族同士が楽しそうに交流する様子が印象的で、ハロウィンイベントが単なる募金活動にとどまらず、地域コミュニティの形成や新しいつながりを生み出す場として重要な役割を果たしていることを実感しました。募金活動だけでなく、地域社会におけるこうした取り組みの意義を理解する貴重な機会となりました。

・11月6日(木): 地区奨学生ディナー

Sussex大学の奨学生とロータリー関係者との交流の場で、食事を終えた後、1人ずつ自己紹介や、出身地域の紹介、大学での学びについてプレゼンテーションを行いました。

・12月6日(土):クリスマスパーティー

これまでのイベントでお会いしたことのない方々と交流することができ、パーティーの後半では皆さんと一緒にダンスを楽しみました。担当カウンセラーの方の体調不良により、急遽別の方がサポートしてくださいましたが、皆さん優しく、温かい雰囲気の中で有意義な時間を過ごすことができました。

カウンセラーの方には定期的に連絡をいただき、学業や生活面での相談に応じていただいています。11月には勉強の息抜きにと、Sheffield Park and Gardenを案内してくださいました。担当カウンセラーの方だけでなく、多くの方がサポートしてくださっており、大変感謝しております。



Sheffield Park and Gardenにて同じクラブに受け入れのGG奨学生(日本)と一緒に連れて行ってくださいました。この日はお天気にも恵まれ、リラックスすることができました。

3. 直面した課題、問題点等

到着後最初に直面した課題は体調不良でした。日本で体調を崩したのは数年に一回、海外を訪れた際にも体調を崩したことは一度もなかったのですが、到着1週間後に原因不明の高熱と咳に見舞われました。英国の医療制度は日本と大きく異なり、容易に医療機関を受診できないと聞いていたので、日本から持参していた薬で対応しました。幸い熱が

数日で収まったため、授業を欠席することはありませんでしたが、留学生生活序盤から体調管理の重要性を痛感しました。

10月末のサマータイム終了後は、日照時間が午前の8時から午後4時と短くなり、加えて約2～3日に1度のペースで雨天・曇天が続くようになり、気分の落ち込みや生活リズムの乱れを防ぐ工夫が必要でした。晴れた日は意識的に外出し、ロータリーのイベントで多くの方が勧めてくださったビタミンDの補給を取り入れ、毎日ビタミン剤を摂取しながら食事にも気を付けています。今後はさらに寒さが厳しくなることが予想されるため、引き続き健康に留意していききたいと思います。

学業面では膨大な数のリーディングと予復習に追われ、睡眠時間を削ることが多々ありました。これは健康管理にも直結するため、次の春学期には計画的に学習時間を確保し、生活リズムを整えることが課題です。

4. 今後の課題、目標

秋学期は、授業とディスカッションについていくことに精一杯で、積極的な発言が十分にできませんでした。コースの学生は私を含め9名と比較的少人数で、必然的に発言を求められる回数も多いのですが、自分の考えを即座に言語化することに苦労しました。また、日本の状況や歴史について質問された際に、知識不足により答えられない場面も多々ありました。

今後は、英国にいるからこそ日本を客観的に捉える視点を養う必要があると感じています。そのため、日本のニュースや情勢、政策動向などに継続的にアンテナを張り、関連する背景知識も学んでいきたいと思います。さらに、それに対する自分の意見を論理的に構築し、授業外の時間に友人と話し合うことで、授業内で積極的に発言ができるようにしたいと考えています。

地区補助金事業「バリアブレイクプロジェクト!! ～岡山ウィンディアとともに～」 車いすバスケットボール体験会の実施

倉敷東ロータリークラブ 会長 藤田 康孝



倉敷東ロータリークラブでは、地区補助金事業として、地域で活動する車いすバスケットボールチームへのユニフォーム寄贈と、車いすバスケットボール体験会を2025年11月29日(土)に開催しました。本事業は、障がい者スポーツへの理解促進と、多様性を尊重し合う共生社会の実現を目的として実施したものです。

体験会には、車いすバスケットボール・パラリンピック日本代表の北田千尋選手にもご参加いただき、競技体験に加えて講演を行っていただきました。講演では、東京でのホテル火災をきっかけとした当クラブ会員との出会いや、競技を通じて学んだ挑戦することの大切さについて語られ、参加者に深い感動と気づきを与えました。



参加者が実際に競技用車いすに乗ってプレーを体験することで、選手の高い技術力やチームワークの重要性を実感するとともに、障がいの有無を超えてスポーツが人をつなぐ力を持つことを学ぶ機会となりました。ユニフォーム寄贈はチームの士気向上にもつながり、ロータリーの奉仕と友情の精神を地域に広げる事業となりました。

地区だより(2025年12月)

新会員のご紹介



岸野勝矢
鳥取中央RC



安永 智
米子中央RC



片岡 諒
松江ヤングリーダーズ
ロータリー衛生クラブ



坂本 満
出雲RC



桑田 智
倉敷東RC



廣川日出夫
倉敷南RC



光嶋咲子
岡山東RC



小林泰司
玉野RC



貝原富美男
玉野RC



山田秀明
岡山西RC

ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・ソサエティ



藤田康孝
倉敷東RC

ポール・ハリス・フェロー(ポリオプラスへの寄付)



秋岡秀典
倉敷RC



椿原彰夫
倉敷RC

ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)



新木雅章
倉吉東RC



岩崎陽一
鳥取西RC



児嶋敏雄
米子RC



浅野裕好
松江東RC



藤原 勝
松江東RC



小西伸明
松江南RC



白根侑哉
松江南RC



野々村健造
松江南RC



吾郷紘一
出雲南RC



浅津和人
出雲南RC



持田隆治
出雲南RC



秦 正
出雲南RC



松本 毅
出雲南RC



淋時歳暢
出雲南RC



三島一男
出雲南RC



岩崎利行
出雲南RC



陰山正広
出雲南RC



梅田恭正
高梁RC



梶川義海
倉敷RC



佐藤 淳
倉敷RC



橋本真治
倉敷RC



平本章夫
倉敷RC



星島和一郎
倉敷RC



岡 裕二郎
倉敷RC



目黒隆三郎
倉敷RC



宅和博彦
倉敷東RC



藤田康孝
倉敷東RC



桑田育郎
倉敷水島RC



梶谷俊介
岡山RC



角山大尚
岡山西南RC



小林和義
岡山西南RC



西井隆之
岡山西南RC



岡本匡史
岡山西南RC



椎原裕二
岡山西南RC

ポリオプラス・ソサエティ登録者

松江東RC 宮内 厚
隠岐西郷RC 前川 昌昭
倉敷RC 森 正博
倉敷東RC 藤田 康孝

メモリアル・コントリビューター

松江南RC 池淵 正浩
(父・池淵功二のため)

クラブ年次基金

鳥取RC 129.74ドル(ミリオンダラーミール)
鳥取西RC 817.27ドル(ミリオンダラーミール・新会員寄付)
隠岐西郷RC 151.03ドル(ミリオンダラーミール)
平田RC 190.00ドル

出雲RC 11.00ドル(新会員寄付)
出雲南RC 256.41ドル(ミリオンダラーミール)
岡山東RC 1769.17ドル(ミリオンダラーミール)

クラブポリオプラス

鳥取西RC 105.13ドル
江津RC 320.51ドル
笠岡RC 159.08ドル
笠岡東RC 221.79ドル
総社吉備路RC 541.27ドル
倉敷RC 403.84ドル
倉敷南RC 213.46ドル(ミリオンダラーミール)
倉敷水島RC 259.62ドル(年末チャリティー)

岡山東RC 564.10ドル
岡山西南RC 207.22ドル

法人寄付

松江南RC …… あいおいニッセイ同和損害保険(株)島根支店 (147.44ドル)
松江南RC …………… NTT西日本(株)島根支店 (147.44ドル)
松江南RC …………… JR西日本山陰開発(株) (147.44ドル)

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

 足達明彦 松江南RC 1	 寺本健太郎 松江南RC 1	 劉麗茹 松江南RC 1	 吾郷紘一 出雲南RC 18	 林不動 出雲南RC 8	 浅津和人 出雲南RC 5	 土井豆勝磨 出雲南RC 4	 松本毅 出雲南RC 4	 小川敬 出雲南RC 4	 持田隆治 出雲南RC 3
 淋時歳暢 出雲南RC 1	 曾田和弘 出雲南RC 1	 梅田恭正 高梁RC 3	 梶川義海 倉敷RC 3	 廣瀬成史 倉敷東RC 9	 桑田育郎 倉敷水島RC 29	 中西竜太 美作RC 1	 安藤究真 岡山東RC 3	 清水富江 岡山南RC 7	

クラブ普通寄付

備前RC …………… 200,000円

クラブ特別寄付

鳥取西RC …………… 45,600円 (米山ランチ)	笠岡東RC …………… 49,920円 (米山ランチ)
松江南RC …………… 46,000円 (米山ランチ)	岡山東RC …………… 70,314円 (米山BOX)
出雲RC …………… 2,500円 (新会員寄付)	玉野RC …………… 54,600円 (米山ランチ)
出雲南RC …………… 34,920円 (米山BOX)	

法人寄付

松江南RC …… あいおいニッセイ同和損害保険(株)島根支店 (10,000円)	松江南RC …………… NTT西日本(株)島根支店 (10,000円)
松江南RC …………… (株)松江エクセルホテル東急 (10,000円)	松江南RC …… 鹿島建設(株)中国支店 山陰営業所 (10,000円)
松江南RC …………… 東京海上日動火災保険(株)山陰支店 (10,000円)	松江南RC …………… 第一生命保険(株)島根支社 (10,000円)
松江南RC …………… 三井住友海上火災保険(株)山陰支店 (10,000円)	松江南RC …………… JR西日本山陰開発(株) (10,000円)
松江南RC …………… 明治安田生命保険相互会社 松江支社 (10,000円)	松江南RC …………… 損害保険ジャパン(株)山陰支店 (10,000円)
松江南RC …………… ALSOK山陰(株) (10,000円)	松江南RC …………… 山陰中央テレビジョン放送(株) (10,000円)
松江南RC …………… (株)JTB 山陰支店 (10,000円)	松江しんじ湖RC …………… (株)コアガス島根 (10,000円)
松江南RC …………… (株)テクノプロジェクト (10,000円)	松江しんじ湖RC …………… (株)オンチョウ (10,000円)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



森田宗一郎 (岡山南RC)
ご逝去日/2025年12月9日
享年/61
入会日/2025年4月22日

出席報告 (2025年12月)

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	12月末日	内女性会員	増減
第1グループ	智 頭	90.00	4	7	8	0	1
	倉 吉	76.67	3	39	39	3	0
	倉 吉 中 央	62.50	4	18	18	2	0
	倉 吉 東	70.90	3	48	47	5	▲1
	鳥 取	79.01	3	55	56	4	1
	鳥 取 中 央	75.00	2	40	44	3	4
	鳥 取 北	76.07	3	41	42	7	1
	鳥 取 西	78.21	3	51	52	2	1
	小計（8）	-	-	299	306	26	7
第2グループ	境 港	71.85	3	48	49	1	1
	米 子	54.72	3	69	69	5	0
	米 子 中 央	100.00	3	37	38	2	1
	米 子 東	64.29	2	109	108	12	▲1
	米 子 南	67.33	3	70	79	7	9
	小計（5）	-	-	333	343	27	10
第3グループ	松 江	79.75	3	55	58	1	3
	衛星クラブ	66.67	2	10	11	5	1
	松 江 東	76.76	3	51	51	3	0
	松 江 南	77.14	3	63	65	6	2
	松江しんじ湖	79.49	4	40	43	8	3
	隠 岐 西 郷	66.67	3	22	21	0	▲1
	小計（5）	-	-	241	249	23	8
第4グループ	平 田	78.76	3	38	38	2	0
	出 雲	74.77	4	55	56	2	1
	出 雲 中 央	81.63	3	48	49	3	1
	出 雲 南	72.03	3	77	81	6	4
	大 社	56.94	3	53	52	5	▲1
	小計（5）	-	-	271	276	18	5
第5グループ	江 津	63.79	4	42	45	3	3
	浜 田	67.22	3	59	61	5	2
	益 田	59.52	4	21	21	2	0
	益 田 西	72.73	4	33	33	2	0
	大 田	68.12	3	23	23	3	0
	小計（5）	-	-	178	183	15	5
第6グループ	井 原	76.92	4	35	37	2	2
	笠 岡	87.78	4	47	47	3	0
	笠 岡 東	82.31	4	39	38	2	▲1
	新 見	78.95	3	18	19	2	1
	総 社	77.78	3	12	12	2	0
	総社吉備路	77.88	4	28	26	1	▲2
	高 梁	75.24	3	34	33	1	▲1
	玉 島	80.39	4	28	30	6	2
小計（8）	-	-	241	242	19	1	

クラブ名		ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	12月末日	内女性会員	増減
第7グループ	児 島	77.27	2	12	12	0	0
	児 島 東	92.59	3	9	9	0	0
	倉 敷	80.14	4	71	74	2	3
	倉 敷 中 央	90.63	3	18	18	6	0
	倉 敷 東	85.23	4	24	24	4	0
	倉 敷 南	70.20	3	59	60	5	1
	倉 敷 水 島	84.38	2	17	16	0	▲1
	倉敷瀬戸内	53.57	4	22	22	1	0
	小計（8）	-	-	232	235	18	3
第8グループ	真 庭	80.81	3	32	33	2	1
	美 作	68.06	3	25	24	1	▲1
	津 山	57.19	3	96	96	4	0
	津 山 中 央	76.19	3	12	13	3	1
	津 山 西	77.78	3	32	31	5	▲1
	小計（5）	-	-	197	197	15	0
第9グループ	備 前	70.27	3	38	40	4	2
	岡 山	78.76	4	107	116	7	9
	岡 山 東	82.04	4	96	98	3	2
	岡 山 北 西	75.00	4	48	50	5	2
	岡山後楽園	74.67	3	50	51	4	1
	小計（5）	-	-	339	355	23	16
第10グループ	岡 山 旭 川	53.68	3	33	31	1	▲2
	岡 山 中 央	60.76	3	24	27	8	3
	岡 山 北	59.62	3	51	52	5	1
	岡 山 南	69.00	4	152	151	22	▲1
	玉 野	67.74	3	24	31	2	7
	小計（5）	-	-	284	292	38	8
第11グループ	岡 山 備 南	65.22	3	21	19	0	▲2
	岡 山 城	72.62	4	20	20	1	0
	岡 山 岡 南	84.09	4	23	23	2	0
	岡山丸の内	70.54	3	43	42	2	▲1
	岡 山 西	67.64	4	64	71	13	7
	岡 山 西 南	83.23	3	55	55	7	0
	小計（6）	-	-	226	230	25	4

地区クラブ内の状況

クラブ数	65RC
2025年7月1日会員数	2841名
2025年12月末日会員数	2908名
内 女性会員	247名
純増	67名

※7月1日会員数には、7月1日入会の新会員は含まれておりません。
 ※7月1日入会の新会員は、7月末日会員数に含めさせていただきました。
 ご了承をお願いいたします。